

80 銭石山寺多宝塔小型シート貼り

永吉 秀夫



船便印刷物(料金5円)

目黒 S26(1951).6.30 → エジプト

普通切手動植物国宝シリーズの中で最初に発行された「第1次」(銭単位)のうち、国宝図案の4種については、それぞれの切手を1枚だけ収めた小型シート(国宝小型シート)があります。大昔は記念切手扱いされていましたが、昭和40年代に多色刷りの国宝シリーズが発行された後は、普通切手として扱われることが多いようです。

なぜこのような小型シートが発行されたのか不思議な感じがしますが、最初の「24円平等院鳳凰堂」が1950年11月1日に発行されたときに、この年の切手趣味週間(郵便週間)記念の意味を持たせた小型シートを発行したのが始まりです。あとの3種はおつきあいでの発行ということでしょう。

小型シート貼りの実通便というものは一般に希少ですが、それは当たり前です。小型とはいっても単片切手何枚分もの面積があるため、封筒や葉書にそのまま貼って使うには不便だからです。しかしこの国宝小型シートは小型シートとしてはかなり小型なので、1枚だけならば封筒にもあまり無理なく貼ることができます。

と言うことで24円平等院鳳凰堂などは1枚貼りを結構見かけるのですが、高額の50円弥勒や半端な額面の80銭多宝塔となると、やはりなかなか入手の機会がありません。紹介品は1円20銭記念切手(昭和22年共同募金)を利用して銭単位の端数を解消し、さらに2円記念切手(司法保護)と1円普通切手を貼って5円料金の外信印刷物便(PRINTED MATTERの表示はありませんが)に利用しています。いろいろな切手をごちゃ混ぜに貼っている点がゲテモノ的ですね。郵趣家差出し便に間違いありませんが、それはそれでよろしいでしょう。